

## 令和元年度 人権ポスター講評

### 小学校の部 (53点)

生活の中から、一人一人が大切にされる場面や、楽しく遊んだり活動したりする場面を表現した作品が多かった。

優秀作品は、自分が「楽しい」「うれしい」「安心だ」と強く感じている様子が、構図や色彩を工夫して表現されている。

### 中学校の部 (24点)

友達とのよりよい人間関係を築くことの難しさを表現した作品が多く見られる。表現方法も構図や色により、見る者へ訴える技法を工夫している。

優秀作品は、今までには応募作品の中にはなかった「LGBT」への問題をテーマに表現した作品であり、技法も素晴らしかった。

### 高等学校の部 (4点)

今年度は昨年度なかった高等学校からの応募が4点あった。学校として取り組むことが難しい中、高校生も人権課題について自分なりの思いをポスターに表現することは素晴らしい。是非来年度以降も応募があることを望む。